

令和3年度 第3回 大阪府立難波支援学校 学校運営協議会

- 1 期日 令和4年3月10日(木)
13時30分～14時45分
- 2 場所 難波支援学校 校長室
- 3 内容
(1) 令和3年度学校評価及び学校教育自己診断について
(2) 令和4年度学校経営計画について
- 4 議事(協議内容)
・上記(1)～(2)の各議題について、学校長及び事務局の担当者から3月現在の進捗状況等について説明を行った後、各委員からそれぞれ意見をうかがうこととした。

議事の概要)

◆ 令和3年度学校評価及び学校教育自己診断について

谷口委員)

(オフィスの)移転決定後、引っ越しにあたっての清掃活動を依頼した。コロナ禍で大変だと思うが、地域に出ていくことで子どもたちのいろいろな面が見えてくるので、今後も継続してほしい。

辻委員)

近隣の地域でも体罰・虐待の事象があり、研修を実施した。言葉も含めてなくしていく風土づくりが必要であり、校長の思いが伝わっていることがわかるアンケート結果であった。お互いを分かり合える風土が大切。お互いが子どもの人権について把握し、意見を言い合える風土づくりが大きなポイントである。

情報提供が重要で、連絡帳だけでなく様子や取り組みを理解できることは大切。

キャリア教育ではハンドジェル等の取り組みでお世話になりました。落ち着いたら卒業生も含め何かお互いにプラスになることを計画できればと思う。

教育環境や地域関係機関との連携について、with コロナという中で月に一度以上のコロナ対応委員会をもって、対策を検討し保護者座談会を行うなど新しいことに挑戦されていらっしゃるというのが正直な感想です。

ホームページについて、すごく楽しみにしています。授業の様子を載せてくれるので、保護者の方も楽しみにしているだろうなと感じました。

アンケートに関して、「教職員は子どもたちに対して適切な言葉かけができて
いる」という項目で 94.8%の方が満足している一方で「学校は、いじめについ
て子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」という項目で
59.7%の満足度という格差はどこから出てきたのか気になった。

鈴木委員)

全体的にととてもいい評価であった。個人情報の管理について「よくあてはま
る・ややあてはまる」で 100%であったのは素晴らしい。また、教職員同士が日
常的に話し合っているという点について、学校全体に明るい雰囲気があるとい
うことに安心しました。逆に教職員の PTA 活動への参加が振るわないという点
についてはコロナ禍ということで難しいとは思いますが、ネットなどを活用し、工夫
をしてほしいと感じた。また、施設設備面での満足度も他の項目に比べると満足
しているというわけではないので気になった。

中島副会長)

アンケート結果に肯定的なものが増えている。今後も工夫をしながら進めて
いただけたらと思う。また、座談会なども対面で行えるようになるまで途切れる
ことなく続けていただきたいなど思っている。

谷口委員)

アンケートは肯定的評価が多く、楽しく通っているのがわかった。それは保護
者の安心にもつながっている。

辻委員)

教職員の付度のないアンケート結果がいい。訪問した時の包み込んでもらえ
るような雰囲気がよい。これは難波支援学校の特徴的な風土だと思うので保っ
てほしい。

以上で、この項目に関する議事を終了した。

◆令和4年度学校経営計画について

谷口委員)

天象室の活用は、建物（の所属）が地域の小学校から難波支援に変わったときに、どうなるのか気になっていた。新たな形で活用されるとのことで、非常にありがたいと思う。事務所が移転になり、遠くになったのですが、これまでと同じく連携していけたらと思っております。児童生徒のことを考え、今後とも地域との連携をお願いします。

辻委員)

目指す学校像のイメージがよく伝わる内容であり、より具体的に見えていると思われる。

吉田委員)

コロナ禍の中で「自分が社会で必要とされているか」という感覚が損なわれることが多い中で立てられた計画には、共感することができる内容でありました。地域に出かけて行って活動を行っているというお話は非常にありがたいと思うので、是非とも続けていただきたい。

鈴木委員)

天象室の活用は素晴らしいと思う。スヌーズレンの導入などで学校の特色として良いと思う。教育課程の検討はカリキュラムマネジメントの手法を活用できるので協力したい。

2度の研修において、小中高の連携や交流授業の実施などから教員の前向きな取り組む姿勢を感じた。業務の効率化は、時間の短縮だけではなく、やりがいを重視できるものになればありがたい。

中島副会長)

保護者にとって専門機関に相談するのは非常にハードルが高いので、療育相談の件数の増加を目指すことは、療育機関への入口になるのでありがたいと思う。

タブレットの活用について。コロナの影響で、自宅で過ごす機会もまだまだあると思う。少しの時間でも一人で過ごせる時間を持てるというのは、支援する側にとってもありがたいことである。学生時代にそのような習慣が持てるようになると将来的にも良いことがあるのではないかと。授業だけでなく自分一人で遊べるということも視点に加えていただければと思う。

以上で、この項目に関する議事を終了した。

◆その他

- ・事務局から「本会の議事録」について後日、要約をホームページに掲載する旨の報告があり、各委員の了解を得た。
- ・閉会宣言
- ・学校長あいさつ